

愛媛シニア

第 17 回定期総会、森永年行新代表幹事と板楠順二新幹事を選出

藤井正剛 通信員

11月23日、JAM愛媛シニアクラブ第17回定期総会が全労済新居浜支所で、総勢30人参加のもと開かれた。

前田副代表幹事の開催挨拶、総会議長に井関退職者の会の舘氏を選出して進められた。まず、濃田代表幹事が挨拶の中で先の衆議選にふれ「自民圧勝のなかで、愛媛三区の白石洋一氏の当選は大きな成果、重ねて皆さまのご協力に感謝。2019年参院選に向け、国民の信頼が得られる政策と野党連携の構築に期待。社会保障の充実をはじめ諸要求の実現に現役と連携した活動の強化を確認する総会に」と訴えた。

来賓挨拶では、JAMシニアクラブの豊泉副会長から①2年後の参院選「田中ひさや」組織内候補必勝、②政策制度活動強化の学習活動、③組織拡大を現役と一緒にって取り組む要請。白石洋一議員からお礼と働く人々の立場に立った法律予算を求めていくなどと決意を表明。愛媛退職者連合の織田事務局長、JAM愛媛地協の泉議長、全労済新居浜の中村支所長から連帯・激励を受けた。

このあと議事に入り、2017年の活動経過と決算報告、監査報告、18年度活動方針案と予算案、規約の一部改正案などが、いずれも賛成多数で決定された。

役員改選では、代表幹事が濃田氏から森永年行氏に、邦栄退職者の会から板楠順二氏が幹事に、他は全員留任で新年度役員が選出され、新役員を代表して森永新会長が就任の抱負を語った。退任の濃田前代表幹事（幹事を含め13年6ヶ月）には、表彰規定に基づき感謝状と記念品を贈呈、予定の全議案を終了した。この後昼食も兼ねた懇親交流会を行い、元気で来年の再会を確認しながら無事終了することができた。

